

とっとりの

青少年



目次

NO. 134 平成25年3月発行 編集・発行

青少年育成鳥取県民会議

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220

鳥取県福祉保健部

子育て王国推進局 青少年・家庭課内

TEL 0857(26)7078

FAX 0857-26-7863

E-mail t-youth7@infosakyu.ne.jp

ホームページアドレス <http://tpayd.net>

★ 「みんなちがって、みんないい」	(1) 頁
★ 高校生マナーアップさわやか運動	(2) 頁
★ 青少年育成鳥取県民会議及び市町村民会議会長意見交換会	
★ 第34回「少年の主張」鳥取県大会	(3) 頁
★ 第4回「家庭の日」絵画・ポスター作品募集	(4) 頁
★ 「少年の主張」鳥取県大会、そして全国大会を振り返って	(5) 頁
★ 第46回青少年育成鳥取県民大会	(6) 頁
★ 平成24年度青少年育成団体助成金交付団体	(7) 頁

「みんなちがって、みんないい」

青少年育成鳥取県民会議 会長 八村 輝夫

中国の管子に「一年之計 莫如樹穀 十年之計 莫如樹木 終身之計 莫如樹人」また、「一樹一穫者穀也 一樹十穫者木也 一樹百穫者人也」とあります。人を育てるのはそれだけ長い時間がかかる大仕事だし、それだけ収穫も大きいという事です。このところの世相は、企業はできるだけ短期に極大の利益を目指し、東大受験には東大受験に最も効率のよい勉強をすすめますが、人を育てるという観点から資金をつぎ込もうという姿勢は見られません。教育にもこのような風潮が入ってくるから、スポーツでは強くなることだけを追い求めるため、暴力を使う指導が生まれるのではないかと感じます。管子の言うように最も収穫を多くしようと思うなら、人を育てること、時間はかかるが人材への投資が、今、一番必要なことではないでしょうか。

少子高齢化の世界のトップランナーである日本では、若い人に期待するところは非常に大きく、人材の育成にいくら重点を置いても、置きすぎるということはないと思います。教育、学校教育だけではなく、もっともっと人としての教育に力を注がなければいけないと思います。日本ではいろいろな分野でも官主導で物事が進みます。現場での経験の無い官僚の立てた効率のよい仕組みだけで物事がすべてうまくいくとは限りません。企業でも現場の声を大事にする企業が成功を収めているように、教育でも現場が一番事情を知っており、最もよい対策は現場の考えに基づいて立てられます。組織をどう変えても、現場にしっかりと足をおろした組織でなくてはなりません。

私の好きな童謡に金子みすずの「私と小鳥と鈴と」というのがあります。これは最後に「みんなちがって、みんないい」私も小鳥も鈴もそれぞれの得意分野で他の人ができないことができる、皆が違うから皆がいい、と言っています。頭のよい子があれば、こつこつと仕事をするのが得意な子もいる。一人ひとりの個性を活かした若人の育成には、地域の人の大きな協力と長い時間が必要ではないでしょうか。

☆高校生マナーアップさわやか運動（平成24年4月・9月実施）



余子駅前にて↑



↑松崎駅にて

平成24年度の高校生マナーアップさわやか運動を4月17(火)から20日(金)、9月11日(火)から14日(金)の各4日間に開催しました。JR駅、各高校前では、県民会議関係者は4月には延べ約1520名、9月にも約2000名の方に参加していただき過去最高の参加人数で運動を展開することができました。今後も県民運動として皆様に浸透していくよう、啓発していきます。

参加者の声

- ・小中学生は元気よく挨拶してくれるが、高校生は会釈はしてくれるが声が小さい。
- ・色々な団体と連携した活動になっていて、回を重ねる毎にコミュニケーションがとれてきた。
- ・地域でのあいさつ運動にもつながっている。

☆青少年育成鳥取県民会議及び市町村民会議会長意見交換会

〔第1回〕	日 時	平成24年6月15日(水) 13:30～
	場 所	倉吉未来中心 セミナールーム1
	出席者	市町村民会議 会長・副会長：7名 事務局：17名 県民会議 6名
	意見交換	①平成24年度の県民会議と市町村民会議の連携事業について ②平成23年度鳥取県青少年育成意識調査報告書について
	報告事項	①第4回「家庭の日」絵画・ポスター作品募集について ②「青少年育成団体助成金」について ③とっとり若者自立応援プランについて(青少年・家庭課)



〔第2回〕	日 時	平成25年1月29日(火) 13:30～
	場 所	倉吉未来中心 セミナールーム1
	出席者	市町村民会議 会長・副会長：9名 事務局：13名 県民会議 12名
	報告事項	・平成24年度の県民会議の事業実績について
	意見交換	・平成25年度の県民会議と市町村民会議の連携事業について 平成25年度の取組方向 ①「青少年育成団体助成金」について ②「少年の主張」鳥取県大会について ③青少年育成鳥取県民大会について ④「家庭の日」作品募集について ・その他の事業・運動についての要望等について

市町村民会議からの声

- 「マナーアップ運動」に合わせてあいさつ運動・夜間パトロールを行った。
- 先進的な取組の事例を紙面でPRしてほしい。
- 中学生と地域の大人が語り合う場を作りたいかったので、団体助成金は有り難かった。
- 青年団体の活動を育成するという役割が県民会議・市町村民会議にはある。
- 推進指導員との連携をとりながら活動していかなければと思った。
- 「少年の主張」の開催がローテーションで決まっているなら早め早めに動いてほしい。

第34回「少年の主張鳥取県大会」

と　き　平成24年9月14日(金) 13:30～16:00

と　こ　ろ　岩美町立岩美中学校 体育館

県内19の中学校から1,386編の応募があり、事前審査・第一次審査を通過した11名の発表者の中より、**最優秀賞は倉吉市立東中学校3年 山田颯亮さんの「キモイ」って何？**が受賞されました。

当日は、岩美町立岩美中学校の生徒及び先生をはじめ、岩美町の多くの方々の来場により会場は満席となり、発表者一人一人の主張に耳を傾け、中学生の豊かな心と鋭い感性に感動頻りの会場内でした。

結果発表

最優秀賞（県知事杯）	「キモイ」って何？	倉吉市立東中学校	3年 山田 颯亮さん
優秀賞（県教育長杯）	「まあい正義感」	倉吉市立東中学校	3年 大村 麻弥さん
〃（県議会会長杯）	「笑顔でつなぐ心と心」	米子市立福米中学校	2年 板垣 志穂さん
〃（市長会長杯）	「優しい気持ち」	米子市立福生中学校	3年 野口健太郎さん
〃（町村会長杯）	「地域行事と文化」	岩美町立岩美中学校	3年 中島 彩さん
〃（NHK局長杯）	「ラスト・チャンス」	八頭町立八東中学校	3年 小林 里奈さん



11名の発表者の様子

優良賞（順不同）

「みんなの家とはちがうこと」	鳥取市立東中学校	1年 田中 沙季さん
「夢に向かって」	鳥取市立東中学校	3年 大谷 有沙さん
「もらった夢」	米子市立東山中学校	1年 二宮菜々子さん
「人の支え」	米子市立弓ヶ浜中学校	3年 廣嶋はづきさん
「私を支えてくれた仲間」	伯耆町立溝口中学校	3年 遠藤 花奈さん

司会者



岩美町長祝辞



岩美中学校生徒会による特別賞授与

アトラクション
(ゆかむり音頭)



福間審査委員長講評



←入賞者全員で記念撮影

審査結果・表彰が終わり、ほっとした中で審査委員と岩美中学校生徒スタッフの方々と一緒に記念撮影となりました。

※来年度は**西部地区**で開催します。中学生の生の声・思いに触れるチャンスです。ぜひ御来場ください。

第4回「家庭の日」絵画・ポスター作品募集

「毎月第三日曜日は家庭の日」を鳥取県に定着させるために「家族」というテーマで第4回「家庭の日」絵画・ポスター作品募集を行い、県内の市町村民会議に、小中学生の皆さんから634点の作品が寄せられました。その中から各市町村民会議での審査会を経て、県民会議に推薦していただいた97点の作品を更に審査して、小学校低学年の部・高学年の部・中学生の部で最優秀賞3点、優秀賞3点、優良賞11点の17名を、10月14日（日）に開催した県民大会で表彰しました。

今後も毎月第3日曜日は「家庭の日」を一人でも多くの県民の皆様にご存知になっていただくよう啓発活動に力を入れていきたいと思っております。

☆入賞者

〔小学校低学年の部〕

	市町村名	学校名	学年	氏名	タイトル
最優秀賞	湯梨浜町	羽合小学校	3	牧田 桃子	待っていた赤ちゃんたん生！
優秀賞	鳥取市	鳥取大学附属小学校	3	太田 来明	おふろの時間
優良賞	米子市	加茂小学校	3	今村 咲楽	お父さんの肩車
	境港市	渡小学校	2	木下 樹	みんなで魚釣り
	琴浦町	浦安小学校	1	松本 陽	あかちゃんがうまれたよ
	伯耆町	岸本小学校	1	井澤野乃花	家族
	伯耆町	岸本小学校	2	井澤 梨乃	家族

〔小学校高学年の部〕

	市町村名	学校名	学年	氏名	タイトル
最優秀賞	米子市	和田小学校	5	角 和香	家族でハイキング「ヤッホー」
優秀賞	倉吉市	明倫小学校	4	岩山明日香	わが家のカレー作り
優良賞	琴浦町	八橋小学校	4	米澤 悠	大山登山、最高！
	鳥取市	用瀬小学校	5	菊川 桃子	家族の幸せ
	鳥取市	鳥取大学附属小学校	4	白築 隆誠	家族との楽しい思い出
	倉吉市	西郷小学校	5	百々 知花	家族で焼肉
	日野町	根雨小学校	4	砂流 大輝	おじいちゃんと田んぼにあみをはったよ

〔中学生の部〕

	市町村名	学校名	学年	氏名	タイトル
最優秀賞	大山町	大山中学校	1	椎木 駿介	家族のほほえみ
優秀賞	大山町	大山中学校	1	藤田 千穂	家族でとった写真
優良賞	北栄町	大栄中学校	2	穂近 朋奈	争奪戦

第4回「家庭の日」絵画・ポスター作品 入賞作品集

最優秀賞 《小学校低学年の部》



羽合小学校 牧田 桃子

最優秀賞 《小学校高学年の部》



和田小学校 角 和香

最優秀賞 《中学生の部》



大山中学校 椎木 駿介

優秀賞



鳥大附属小 太田 来明



明倫小学校 岩山 明日香



大山中学校
藤田 千穂

#####

「少年の主張」鳥取県大会、そして全国大会を振り返って

平成24年11月11日（日） 国立オリンピック記念青少年総合センター

倉吉市立東中学校 3年 山田 颯亮



自分にとっては難しいことだがみんなにとってはすごく簡単なこと、それは気軽に話しかけることです。でも、クラスみんながこの不安を取り除いてくれました。僕は、だんだんと自分から話しかけられるようになっていきます。給食の場面や掃除の場面で自然に関わってくれるクラスみんなに感謝しています。自分の背中を押してくれて、助けてくれて有り難うって。

「少年の主張」で弁論をするということを通して、自分でも『変わったな』とつくづく思います。全国の発表者の人達と仲良くなり、連絡を取り合うようになりました。今までの僕は、自分のことで精一杯で、人がどういう体験をしてきたのか、考えることができませんでした。全国大会へ行き、11名のみなさんの発表や話を聞くことで、相手がどういう経験をして全国大会まで来たかが分かりました。初めて会う人の話を親身に聞くことができました。そして、みんなの明るい顔を見ていると、自分もっと明るくポジティブに考えていこう、と前向きに考えることができます。

僕のメンタルを強くし、いろいろな部分を教えてくれた「弁論」は、これからの生き方を考える上での学びの場でもありました。この経験を忘れずに自分の一つの武器として頑張っていきたいです。



「第46回青少年育成鳥取県民大会」

平成24年10月14日（日）

鳥取県立福祉人材研修センター（鳥取市）で開催



本年度の県民大会も、昨年同様多くの参加者で会場が埋め尽くされました。鳥取市の『城北太鼓クラブ』23名の演奏で開会し、主催者挨拶・来賓祝辞の後、青少年育成2団体にステージ発表をしていただきました。

その後、青少年育成活動功労者顕彰、「家庭の日」絵画・ポスター入賞者の表彰に続いて、「少年の主張」鳥取県大会で最優秀賞受賞の山田颯亮さんに、幼少期から重度のアトピー性皮膚炎・白内障という症状で、周囲のよそよそしい視線・態度・心ない言葉に苦しみ、悩みながらも家族や友達の支えなどにより、自分と他人にしっかり向き合えるようになったことを力強く発表していただきました。

ロビーでは鳥取市青少年育成地区協議会の活動をパネル展示し、会場内は「家庭の日」絵画・ポスター作品で和やかな雰囲気に包まれました。

大会を通じて、家庭と地域の両輪で健やかな子ども達が育っていくと実感できました。

（１） 青少年育成活動功労者顕彰（顕彰団体1団体、顕彰者2名）

倉吉道場 (倉吉市宮武道館 剣道教室)	倉吉市	戦後に青少年の健全育成を目標に開設された8つの剣道場・剣道教室の流れを汲み、平成11年に発足して以来、剣の理法の習得や修練を通して「心」・「身体」・「技」を磨き、「人間如何に生きるべきか」「如何に行動すべきか」を門下生、指導者、保護者が一体となって探求し活動をしてられます。
あきた しんさく 秋田 晋策	倉吉市	平成11年度から23年度までの長きにわたり明倫地区青少年育成協議会会長として育成活動に尽力され、平成23年には明倫地区で子どもいきいきプラン事業を開始されています。
こしば よしろう 小柴 克郎	鳥取市	平成3年ボーイスカウト鳥取第12団の発団直後から、長年に渡って献身的にボーイスカウト鳥取連盟の発展と充実に大きく貢献されました。特に近年は、指導者の育成に積極的に取り組んでられます。

（２） 「少年を守る店」優秀店顕彰

(有)ファミリーマート コハラ	湯梨浜町	店の経営者として、仕事をしながら青少年育成推進指導員の活動を積極的に取り組み、店舗周辺での毎朝夕のあいさつ運動を長年取り組んでられます。青少年育成健全育成を願い、地域のおじさんおばさん運動として声かけ運動も実践されています。
--------------------	------	--

（３） 青少年育成活動功労者顕彰・「家庭の日」絵画・ポスター作品入賞者の表彰の様子



(4) 第34回「少年の主張」最優秀賞

「キモイ」って何？ 倉吉市立東中学校 3年 山田颯亮さん 発表
(当県民会議のホームページでご覧になれます。)

(5) 平成23年度青少年育成団体助成金交付団体の活動報告

○発表者：米子市永江地区子ども会育成会 永江地区公民館 館長 細木 福雄 氏
助成対象事業：「永江イエロー」(平成23年5月8日～10月2日実施)

○発表者：ぷろじえくと えん 伊奈 真弓 氏
助成対象事業：赤ちゃんとの「ふれあい会」(平成23年11月11日実施)

【展示報告1】団体名：子ども未来ネットワーク 対象事業：「ボードゲームマスター養成講座」

【展示報告2】団体名：境港市青少年育成誠道築地区部会 対象事業：「もちつき大会」

(6) ステージ発表…発表団体からのコメント ◎ 津無郷土芸能保存会 演目：「津無大黒舞踊り」



「エーコレ、大黒舞を見んさいなァ」の歌声にあわせて踊るユーモラスな「津無大黒舞」は、全国各地で古くから踊り継がれる庶民の踊りです。その中でも極めてゆるやかなテンポと素朴さに特徴があるのが津無郷土芸能保存会(代表：小谷孝忠)12名が受け継ぐ「津無大黒舞」です。

津無大黒舞の言い伝えでは「大国主命が、八神姫と佐治の飯盛山を散歩の途中、ふもとの津無集落に立ち寄った時に、村人が踊って歓迎した踊り」とされています。

大黒舞は、元々祝いの踊りで、今でも毎年元旦にお宮のお堂で踊ります。

佐治中学校では、地域との交流、伝承文化の継承のため、数年前から大黒舞の伝承に取り組んでおり、本日は6人の生徒が大黒舞を踊ります。

◎ 関金さいとりさし保存会 演目：「さいとりさし」

さいとりさしは、殿様の鷹狩りの小鳥を捕る仕事です。

横暴な振る舞いが表現されており、こっけいなおどりです。

毎年、関金中学校の1年生全員に、指導をしており10数年続いています。

又、鳥取県の無形民謡文化財に指定されており、郷土の宝として大切に伝承していきたいと思っています。



平成24年度青少年育成団体助成金交付団体

平成24年6月に「青少年育成団体助成金」の助成団体を募集し、6団体から応募がありました。7月10日開催の審査会におきまして、下記の5団体に助成させていただきました。

団 体 名	事 業 名
青少年育成湯梨浜町民会議	直接体験活動(乗馬体験)
福生中学校区少年指導委員会	地域社会と福生中学校連携事業
東中校区心豊かな子どもを育てる会	ウォークラリー
青少年育成福部町地区協議会	YOUあんどI活動
未来サポート	夏休み子ども教室



**脱法ハーブの
使い方
(マニュアル)**

青少年を

脱法ハーブ等

**薬物乱用の危険から、
県民みんなで守ろう！**

鳥取県青少年健全育成条例を改正しました。(平成 25 年 1 月 1 日施行)

薬物乱用を誘発する本・映画などは、青少年へ売らない！見せない！
関係事業者の自主的な取組をお願いします。

鳥取県・青少年育成鳥取県民会議

青少年育成鳥取県民会議 第 3 回「家庭の日」絵画入賞作品より

県庁子育て王国推進局子育て応援課

〒680-8570 鳥取市東町一丁目 220 番地
TEL 0857-26-7868 FAX 0857-26-7863
e-mail kosodate@pref.tottori.jp

子育て王国 鳥取県
小さな愛が大きな愛

子育て王国とっとりサイトにアクセス！

子育て王国鳥取県 **検索**

会員募集

次代の日本を担う青少年の健全な育成を図るため、広く県内の皆様に会員ご加入をお願いします。

年会費 個人・団体共通 1口 1,000円以上

入会受付は随時行っていますが、会員期間は入会年度の 3 月末までとさせていただきます。

会費は青少年育成鳥取県民会議の下記の口座に納入（手数料は無料です）か、事務局まで御御連絡ください。

○山陰合同銀行	鳥取県庁支店	(普通預金) 2335711
○鳥取銀行	鳥取県庁支店	(普通預金) 0167825

※会員の皆様には、総会資料・「少年の主張」文集・啓発カレンダー・機関紙「とっとりの青少年」をお送りします。

事務局：青少年育成鳥取県民会議 ☎0857-26-7078